

# 瑞浪市公共施設等総合管理計画

## 個別施設計画

### 【文化・社会教育系施設】

#### ②博物館等

(第1期第5版)

令和6年3月

瑞浪市教育委員会スポーツ文化課

## 目 次

1. 計画の策定について	1
（1）計画策定の趣旨	1
（2）文化施設の管理に関する基本方針	2
（3）計画の位置づけ	6
（4）対象施設	6
（5）計画期間	6
2. 現状と課題について	6
（1）個別施設の状態	6
（2）利用者数の推移等	6
3. 計画策定方針について	6
（1）基本方針	6
（2）新施設の考え方	6
4. 具体的な取組内容について	7
（1）取組内容	7
（2）今後の方向性・スケジュール	11

### 改訂履歴

初版	平成30年2月
第2版	令和3年3月
第3版	令和4年3月
第4版	令和5年5月
第5版	令和6年3月

## 1. 計画の策定について

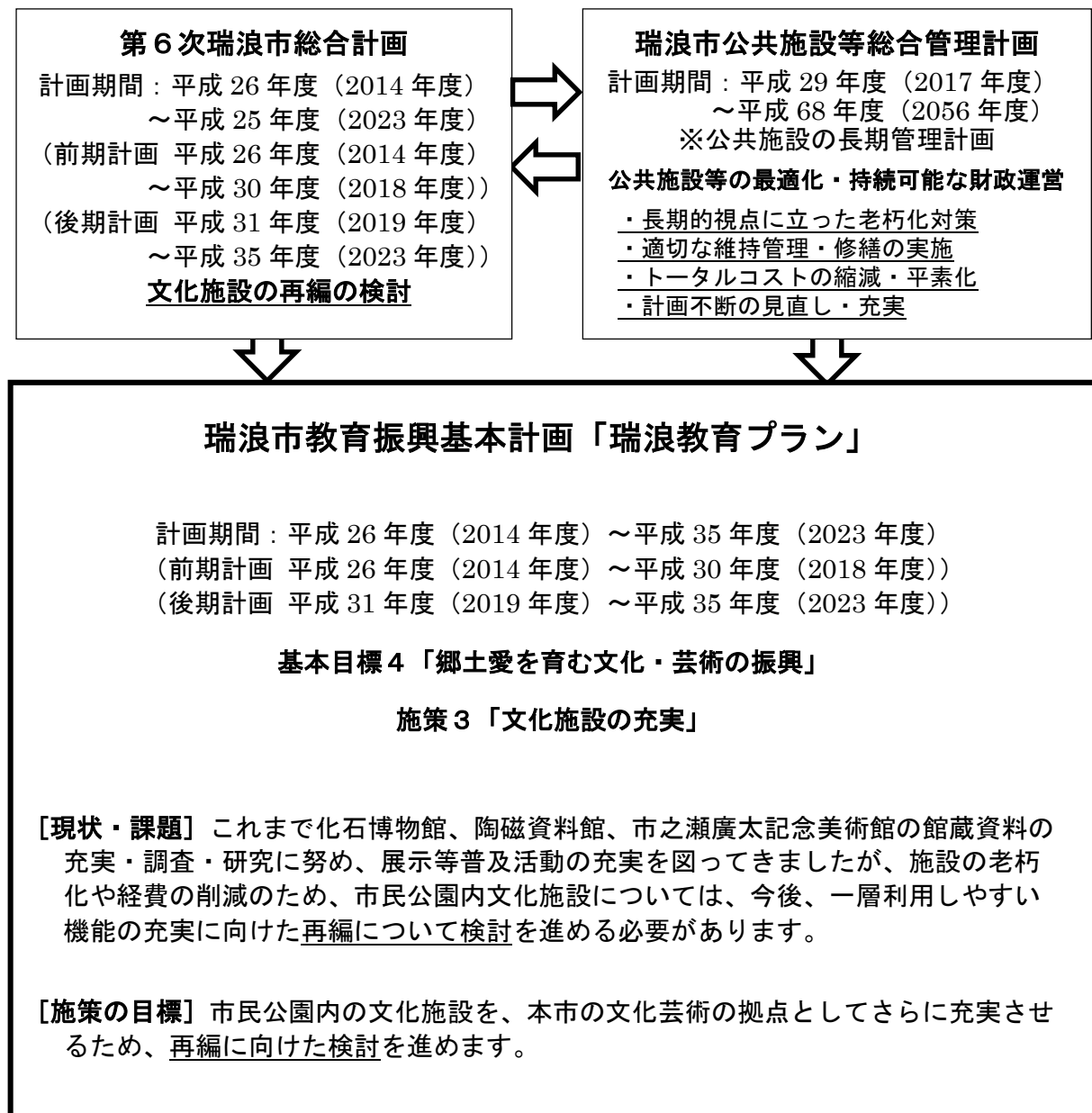
### (1) 計画策定の趣旨

瑞浪市民公園内文化施設再整備の検討は、瑞浪市教育振興基本計画の基本目標のひとつであり、また、第6次瑞浪市総合計画における教育分野の個別計画の一つでもあります。

スポーツ文化課は、瑞浪市教育委員会協議会（平成29年（2017年）3月）において、文化施設4館の管理に関わる基本方針を提案しました。今後、瑞浪市教育振興基本計画の前期計画の中で、瑞浪市民公園内にある博物館等4施設の10年間の在り方の指針として検討を加えていきます。

また、瑞浪市公共施設等総合管理計画の中でも博物館等の個別施設計画および公共施設再編成プラン（施設別再編成）を策定し、総合的に検討を加えて取り組んでいきます。

### 各計画の相互関係



## (2) 文化施設の管理に関する基本方針

### ア. 目標期間

平成 29 年度（2017 年度）～令和 8 年度（2026 年度）の 10 年間

### イ. 目標期間内での施設管理方針

- 1 来館者に対し、安全性と利便性の確保と利用環境の質を維持することを管理面の前提条件とします。
- 2 現状維持を原則とし、施設・設備等の不具合発生時には、必要最小限の修繕で対応し維持し続けます。
- 3 各施設の現状に基づく大規模改修を要する場合の対応方針については、表 1 のとおりとします（固定資産台帳及び個別施設計画対策算定基準に基づく）。
- 4 令和 4 年に施設耐用年限が到来する地球回廊は、来館者に対する安全性と利便性の確保が困難であることから令和 2 年度をもって廃止します。
- 5 総合的見地から、新施設の建設を提案し早期実現を要望します。

表 1 文化施設 4 館の現状と課題

#### 瑞浪市化石博物館

- ・昭和 49 年（1974 年）5 月 1 日開館（建築年度 昭和 48 年度）  
鉄筋コンクリート平屋建、延床面積 954.86 m<sup>2</sup> 耐用年数到来 令和 5 年度  
耐震基準満たず（耐震診断実施済）  
バリアフリー非対応
  - \* 計画期間内の令和 5 年度（2023 年度）に建物の耐用年数 50 年を迎えた
  - ・建設費 107,675 千円
  - ・最近の改修事業（平成 26 年度（2014 年度） 展示室緊急改修工事 7,346,160 円、緊急改修工事 14,671,800 円）
  - ・収蔵資料 約 25 万点、内 457 点は模式標本類（世界で一つ）＝自然史財としての文化財的位置付
  - ・平成 30 年～令和 4 年度（2018～2022 年度）平均年間入館者 23,247 人（利用度割合 93%）
- 別館併設（旧 瑞浪市産業展示館）
- ・平成元年（1989 年）10 月 12 日開館（建築年度 平成元年度）
  - ・鉄筋コンクリート平屋建、延床面積 564.26 m<sup>2</sup>
  - ・建設費 128,131 千円

#### 大規模改修を要する箇所

- 1 変電設備の劣化（開館以来更新なし、急務）
- 2 空調設備の劣化（20 年経過、急務）
- 3 給排水設備の劣化（開館以来更新なし、急務）
- 4 屋上防水の劣化（20 年経過、急務）
- 5 非常排煙装置の劣化（開館以来更新なし）

**改修費 5 億 4,689 万円**（個別施設計画基礎資料に基づく）

#### 対応方針

設備の劣化は、来館者はもちろん、特に収蔵資料に対する影響も大きい。  
改修事業実施について関係部局と協議し、実施の是非について決定する。  
非とされた場合でも、スポーツ文化課の業務は存続し、館は展示を閉鎖、収蔵施設として存続  
別館については、基本的に修繕は行わない。

#### 瑞浪市陶磁資料館

- ・昭和 55 年（1980 年）4 月 10 日開館（建築年度 昭和 54 年度）
- ・鉄筋コンクリート 2 階建、延床面積 1,180 m<sup>2</sup>、耐用年数到来 令和 11 年度  
倉庫増設（平成 21 年度（2009 年度）66 m<sup>2</sup>）、陶芸作業室（平成元年（1988 年度）、平成 5 年度（1997 年度）62 m<sup>2</sup>）
- ・耐震基準満たす（耐震診断実施済）  
バリアフリー非対応  
土砂災害特別警戒地域に立地
- ・建設費 216,367 千円
- ・最近の改修事業（平成 28 年度（2016 年度） 展示室改修工事 14,318,000 円）
- ・収蔵資料 約 12,000 点（指定・登録文化財 3,833 点、人間国宝作品 72 点）
- ・平成 30 年～令和 4 年度（2018～2022 年度）平均年間入館者 5,099 人(利用度割合 50%)

#### 大規模改修を要する箇所

- 1 変電設備の劣化（開館以来更新なし）
- 2 屋根の劣化（平成 10 年（1998 年）に更新したのみ、急務）
- 3 作陶小屋の劣化（開館以来更新なし）
- 4 登り窯の劣化（使用限界）
- 5 空調設備の劣化（平成 20 年度に 3 基のうち、2 基更新したが、未更新 1 基動作不良）
- 6 昇降機の劣化（開館以来更新なし）
- 7 非常排煙装置の劣化（開館以来更新なし）

**改修費 3 億 7,872 万円**（個別施設計画基礎資料に基づく）

#### 対応方針

設備の劣化は、来館者はもちろん、収蔵資料に対する影響も大きい。  
改修事業実施について関係部局と協議し、実施の是非について決定する。  
非とされた場合は、展示を閉鎖、収蔵施設として館の機能は存続。  
登窯と作陶小屋の建替えは行わない。

#### 瑞浪市市之瀬廣太記念美術館

- ・平成 3 年（1991 年）10 月 1 日開館（建築年度 平成 3 年度）  
鉄筋コンクリート平屋建、延床面積 518.63 m<sup>2</sup>、耐用年数到来 令和 23 年度
- ・耐震基準満たす  
バリアフリー対応
- ・建設費 202,257 千円

- ・最近の改修事業（平成 26 年度（2014 年度）屋根改修工事 3,348,000 円）
- ・収蔵資料 468 点（市之瀬作品が中心）
- ・平成 30 年～令和 4 年度（2018～2022 年度）平均年間入館者 4,738 人(利用度割合 44%)

#### 大規模改修を要する箇所

- 1 空調設備の劣化（開館以来更新なし、供給部品のストック期限が到来し修繕不可能となる）
- 2 照明器具の更新（開館以来更新なし、一部は修繕済）
- 3 平尾作品展示・収蔵スペースがない、日本画のため空調、照明管理が必要

**改修費 1 億 8,670 万円**（個別施設計画基礎資料に基づく）

#### 対応方針

設備の劣化は、来館者はもちろん、収蔵資料に対する影響も大きい。

入館者数、施設管理経費のバランスを考慮し、大規模改修は実施せず廃止とする。

館蔵資料の保管場所とブロンズ化作品の屋外展示方法を検討する。

#### 瑞浪市地球回廊

- ・平成 5 年 5 月 1 日開館（建築年度 平成 4 年度）
- ・令和 3 年 3 月 31 日廃止
- ・令和 4 年度 管理事務所及び回廊内構築物撤去（事業費 850 万円）
  - ・屋外施設、軽量鉄骨平屋建、延床面積 119 m<sup>2</sup>、耐用年数到来 令和 4 年度
- ・安全基準は定められていない

バリアフリー対応

**\* 計画期間内の令和 4 年度（2022 年度）に建物の耐用年数 30 年に達する**

- ・建設費 561,870 千円
- ・最近の改修事業 無
- ・収蔵資料 無
- ・平成 28 年～令和 2 年度（2016～2020 年度）平均年間入館者 30,161 人(利用度割合 71%)

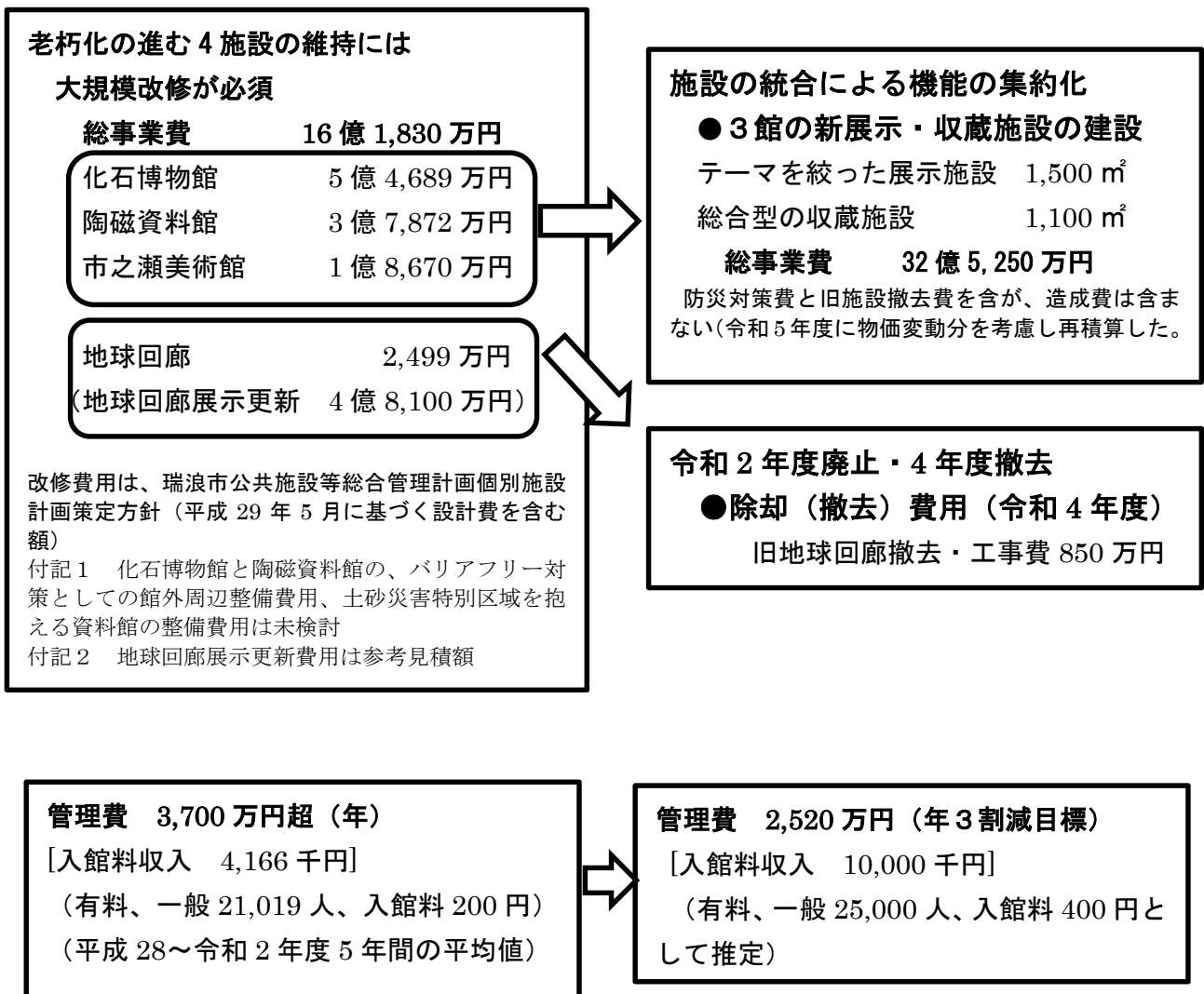
#### 対応方針

本計画に従い、令和 2 年度で施設廃止し、令和 4 年度撤去・整備工事を実施。

### ウ. 新施設の基本的な考え方

令和4年度（2022年度）に地球回廊、令和5年度（2023年度）には化石博物館の耐用年数が到来します。各施設を令和8年度（2026年度）まで存続させる、あるいは長寿化対策を図るためには大規模改修が必須となりますが、改修費用は4館で16億1,830万円が見込まれます。化石博物館と陶磁資料館はバリアフリー未対応のため、利用者に対する施設利用面の課題解消が必須です。また、4施設が分散配置しているため、管理経費は5ヶ年平均年間約3,300万円（直接人件費含）を超えます。

短期的見地からは、耐用年数が令和4年度に到来する地球回廊を廃し、長期的見地からは、3施設を統合した新施設の建設がこれらの課題の最も効果的な解決策と考えます。



### (3) 計画の位置づけ

本計画は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として位置づけています。

### (4) 対象施設

本計画の対象施設は、平成 26 年度（2014 年度）に整備した固定資産台帳による瑞浪市の博物館等で以下の 4 施設です。

#### 対象とする施設

中分類	小分類	施設数	施設名称
文化・社会教育系施設	博物館等	4	化石博物館 陶磁資料館 市之瀬廣太記念美術館 地球回廊

### (5) 計画期間

本計画の期間は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画という位置づけから、平成 29 年度（2017 年度）から令和 8 年度（2026 年度）までの 10 年間を第 1 期とし、ローリングします。

なお、5 年ごとに見直すことを基本としている瑞浪市公共施設等総合管理計画と整合を図っていきます。

## 2. 現状と課題について

### (1) 個別施設の状況

前章の表 1 にまとめました。

### (2) 利用者数の推移等

別表 1 にまとめました。

## 3. 計画策定方針について

### (1) 基本方針

文化施設の管理に関する基本方針に基づき、1 施設を廃し、3 施設を統合した新施設の建設を目指します。

### (2) 新施設の考え方

新施設の整備を進めるにあたり、文化施設の管理に関する基本方針による既存の博物館等 3 施設の複合化ばかりではなく、多目的利用が可能な研修室を含めることによって利用効率や利便性の向上を図ります。



## 4. 具体的な取組内容について

### (1) 取組内容

新施設の素案を下記の通りとして進めます。

#### ア 「瑞浪市化石と歴史博物館」(仮称) とし展示施設と収蔵施設を集約化

建物の維持管理の効率化、各施設の目的達成のため集約化を図ります。市民公園内文化施設4館の内、令和2年度に地球回廊を廃止し、施設設備の撤去を行い(令和4年度撤去完了)、博物館、資料館と美術館の3施設を集約化し、新施設の延床面積縮減を図ります。

### 建設規模の比較

現況

	延床面積 (㎡)	展示面積 (㎡)	収蔵面積 (㎡)	老朽化率
化石博物館(別館含)	1,519.12	337	530	74.5%
陶磁資料館(倉庫陶芸小屋含)	1,180.00	384	200	79.5%
市之瀬廣太記念美術館	518.63	230	46	56.0%
地球回廊(事務所等) <sup>1)</sup>	119.00	1,015	0	令和2年度廃止 令和4年度撤去
計	3,336.75	1,966	776	

<sup>1)</sup> 地球回廊の回廊部分は構築物のため計上せず

※令和元年度(2019年度)固定資産台帳によるデータ

- ・旧施設は廃止し、順次、解体します。
- ・新施設開館後の展示更新は、初回は開館5年後に、以後10年毎に更新計画を立案します。
- ・施設の集約化により、職員数の見直しを図り経常経費の削減を図ります。

### 施設管理職員数の比較 (R5年度を基準)

	現在(展示含)	展示施設	収蔵施設	新施設計
正職員	5	0	4	4
会計年度任用職員(事務)	6	4	1	5
会計年度任用職員(専門)	2	0	1	1
計	13	0	6	10

※新施設の展示施設の管理を直営とした場合

### イ 展示施設の在り方

#### 「瑞浪市化石と歴史博物館—展示施設」

##### ●館内イメージ:

瑞浪の地質時代から現在に至る歴史を主展示とし、常設展示室2と企画展示室により展開します。



## ウ 収蔵施設の在り方

### 「瑞浪市化石と歴史博物館—収蔵施設」

収蔵施設を独立させることも視野に入れ、同一敷地内に建設し、スポーツ文化課職員または学芸員の元で化石、歴史資料、陶磁器、美術作品等の一元管理を行います。

●管理形態：直営

必要人員 職員 4 名、会計年度任用職員 1 名

### 文化施設 3 館（4 館）の入館者数、収入額、決算額等（平成 30 年度～令和 4 年度）

平成 30 年度～令和 4 年度の統計数値による  
入館者数の単位は人数、収入額から総事業費の単位は円

#### 化石博物館

年度	入館者数			収入額 (入館料)	決算額		人件費を含 管理費	職員按分分 を含管理費	総事業費
	総計	有料	無料		総額	管理費			
30	26,503	9,482	17,021	1,851,765	11,564,796	7,809,282	12,869,281	21,137,661	28,094,406
R1	26,471	9,732	16,739	1,900,875	10,563,123	7,989,624	13,283,648	23,528,950	26,612,776
R2	17,236	8,389	8,847	1,655,750	10,922,887	6,746,397	12,496,619	22,674,756	27,259,230
R3	21,361	8,081	13,280	1,632,200	12,131,000	8,030,972	13,796,388	24,238,441	28,981,469
R4	24,666	10,449	14,217	2,161,335	18,666,639	7,426,743	13,402,861	23,813,184	35,523,252
平均	23,247	9,227	14,021	1,840,385	12,769,689	7,600,604	13,169,759	23,078,598	29,294,227

#### 陶磁資料館

年度	入館者数			収入額 (入館料)	決算額		人件費を含 管理費	職員按分分 を含管理費	総事業費
	総計	有料	無料		総額	管理費			
30	6,947	1,458	5,489	273,565	9,613,000	2,215,095	7,275,094	18,499,108	21,287,703
R1	6,366	1,343	5,023	247,775	8,804,475	1,012,027	6,306,051	19,111,603	22,294,741
R2	3,200	1,493	1,707	286,850	11,009,891	1,643,328	9,785,837	22,474,988	27,294,909
R3	5,505	918	4,587	150,900	10,381,000	1,186,617	6,952,033	19,680,137	24,500,058
R4	3,475	1,034	2,441	155,100	11,536,013	2,745,615	8,721,733	21,483,522	24,190,390
平均	5,099	1,249	3,849	222,838	10,268,876	1,760,536	7,808,149	20,249,872	23,913,560

#### 市之瀬美術館

年度	入館者数			収入額 (入館料)	決算額		人件費を含 管理費	職員按分分 を含管理費	総事業費
	総計	有料	無料		総額	管理費			
30	6,830	2,780	4,050	177,115	4,090,000	3,313,867	7,525,867	10,833,219	11,609,352
1	6,306	994	5,312	180,125	5,347,886	2,911,799	7,162,799	11,260,920	13,697,007
2	2,542	897	1,645	168,850	2,627,839	2,164,847	6,454,847	10,526,102	10,526,102
R3	4,977	709	4,268	120,900	3,304,000	2,841,008	10,431,008	14,607,829	15,070,821
R4	3,034	683	2,351	88,400	4,192,004	3,084,596	10,674,596	14,838,726	15,946,134
平均	4,738	1,213	3,525	147,078	3,912,346	2,863,223	8,449,823	12,413,359	13,369,883

## 地球回廊

年度	入館者数			収入額 (入館料)	決算額		人件費を含 管理費	職員按分分 を含管理費	総事業費
	総計	有料	無料		総額	管理費			
30	30,133	9,379	20,754	1,843,365	5,187,000	5,187,000	9,399,000	12,706,352	12,706,352
R1	31,564	10,106	21,458	1,967,325	4,424,867	4,424,867	8,675,867	12,773,988	12,773,988
R2	23,624	7,212	16,412	1,431,500	1,690,492	1,690,492	5,980,492	10,051,747	10,051,747
平均	30,161	9,735	20,426	1,881,988	4,129,964	4,129,964	8,664,164	11,964,767	11,964,767

令和3年度以降は施設廃止のため数値なし

## 4館合計(5ヶ年平均値)

	入館者数			収入額 (入館料)	決算額		人件費を含 管理費	職員按分分 を含管理費	総事業費
	総計	有料	無料		総額	管理費			
30	70,413	23,099	47,314	4,145,810	30,454,796	18,525,244	37,069,241	63,176,340	73,697,813
R1	70,707	22,175	48,532	4,296,100	29,140,351	16,338,317	35,428,364	66,675,461	75,378,512
R2	46,602	17,991	28,611	3,542,950	26,251,109	12,245,064	34,717,795	65,727,592	75,131,987
R3	33,084	11,688	21,395	2,210,301	26,950,911	12,224,363	29,427,732	55,741,829	66,577,670
R4	31,175	12,166	19,009	2,404,835	34,394,656	13,256,954	32,799,189	60,135,431	75,659,775
平均	50,396	17,424	32,972	3,319,999	29,438,365	14,517,988	33,888,464	62,291,331	73,289,151

※令和3年度以降は施設廃止のため3館の計

## 項目説明

**決算額 総額**：歳入歳出決算書に基づく

**決算額 管理費**：総額の内、各種事業費を除く、経常経費としての事務及び施設管理経費分

**人件費を含む管理費**：決算額 管理費に臨時職員賃金を加えた額

**職員按分を含む管理費**：人件費を含む管理費に嘱託員または会計年度任用職員報酬と職員給与等を加えた額

**総事業費**：職員按分を含む管理費、各種事業費を加えた額

## その他事項

・人件費を含む管理費は、文化施設事務管理経費の賃金または報酬等の合算額を、29年度は各館0.25、30年度は化石0.5、陶磁0.5として按分

・職員按分を含む管理費は文化施設事務管理経費の給与等の合算額を化石0.25、陶磁0.2、市之瀬0.1、地球0.1として按分

・文化施設受付等業務委託料は、30年以降、美術館・地球回廊の人件費を含む管理費に、美術館0.5、地球0.5として按分、R3以降は美術館の人件費を含む管理費に入れた

・文化施設事務管理経費の嘱託員または会計年度任用職員1名の報酬等は陶磁資料館に加えた

(2) 今後の方向性・スケジュール

施設名	建築年度	耐用年数	使用目標年数	今後の方向性	実施年度	H29 2017	H30 2018	H31(R1) 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
化石博物館 (別館含)	S48	50	機能移転または維持不能まで	集約・複合化	対策内容	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討
					対策費用										
陶磁資料館	S54	50	機能移転または維持不能まで	集約・複合化	対策内容	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討
					対策費用										
市之瀬廣太記念美術館	H3	50	機能移転または維持不能まで	集約・複合化	対策内容	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討
					対策費用										
地球回廊	H4	30	R3 (R2施設廃止)	廃止	対策内容	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	廃止	除却方針検討	撤去・整備工事				
					対策費用						8.5				
新博物館展示部門	R8	50		集約・複合化	対策内容	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討
					対策費用										
新博物館収蔵部門	R8	50		集約・複合化	対策内容	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討	集約・複合化検討
					対策費用										

- ・施設の法定耐用年数を超えて延伸させることを目的とした長寿命化改修を行う場合は、施設の使用目標年数とその必要性を記載すること。
- ・対策費用の単位は、百万円とすること。(対策費用は概算であり、変更する場合がある)